



# 山梨青年

YMCA NEWS

12・1

2023年12月22日発行  
公益財団法人山梨YMCA  
〒400-0032  
甲府市中央3-10-7  
Tel.055-235-8543  
fax055-235-8553  
www.yamanashiyymca.org  
発行人 / 中田純子  
編集人 / 風間奈月

年間聖句：何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。  
一ペトロの手紙Ⅰ 4章8節



## 「クリスマスの大きな喜び」 インマヌエル甲府キリスト教会牧師 岡 信男

今から2000年前、最初のクリスマスの夜、野宿をしていた羊飼いたちのところに天使が現れ、イエス・キリストの誕生を真っ先に告げ知らせました。天使は、「わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。（英訳 I bring you good news of great joy that will be for all the people.）」（ルカによる福音書2章10節）と言い、クリスマスが「大きな喜び」であり、かつ「FOR ALL」であることを知らせたのです。

この1月17日で、阪神・淡路大震災は発生から29年を迎えます。阪神・淡路大震災では多くのボランティアが被災地に駆け付け、救援・復旧にボランティアが欠かせない存在であることを印象づけるとともに、人びとの関心を高め、多くのボランティアグループや NPO法人の誕生へとつながりました。当時、神戸で被災した私も、被災者支援を肌身で感じ、地域社会に対して何らかの貢献をしたいという志が与えられました。神様に導かれて、11年前に甲府に移住し、現在、キリスト教牧師という立場で、評議員兼常議員として山梨YMCAに関わっています。

災害時に限らず、地域社会の課題は潜在的に多くあり、解決の必要に迫られています。しかし、YMCA運動の裏付けは、ただ必要に迫られてというのではなく、喜びがあるからという一面があります。「みつかる。つながる。よくなっていく。」の体験・経験を通して、だれもが生きる楽しさ、喜びを感じられる社会実現を目指しているからです。

羊飼いたちは、すぐにベツレヘムへ、馬小屋の飼い葉桶に寝かされている幼子イエスに会いに行き、イエスについて天使から聞かされたことを、人びとに伝えました。クリスマスに込められた神様の思いは、あらゆるすべての人びとに大きな喜びを与えることです。キリスト誕生のこの喜びは、イエスにおいて示された愛と奉仕の生き方に学ぶYMCAにとって、出発点と言えます。山梨YMCAがここにある。それは、私たちにとって「大きな喜び」であり、「FOR ALL」の推進は、この「大きな喜び」を体現し、分かち合うことなのです。

先日、不登校支援団体のクリスマスコンサートに足を運んできました。童謡歌手の男性が「クリスマスソング」その他「いのちの歌」「糸」「瑠璃色の地球」を歌い、最後に「お正月」で終了した会でした。

クリスマスをテーマに進められ、子どもたちにとって楽しみな日、人の命、人と人のつながり、地球市民である人間、最後に新年を迎える日本人の日常で締めくくられたこの時間は、私たちがもう一度考えるべき事を教えてくれたコンサートでした。「瑠璃色の地球」は若き私が大好きであった曲でした。当時の私は、何十回、何百回と歌い、口ずさんだものでした。今、耳にして歌詞の意味の重さにハッとさせられ、歌詞の深さによやく気付いたのでした。特に2番の歌詞は、私たち人間が神様から大切な命を与えられ、この地球に存在する意味を考えさせられます。※（以下「瑠璃色の地球」歌詞抜粋）

※泣き顔が微笑みに変わる 瞬間の涙を世界中の人たちにそっとわけてあげたい

争って傷つけあったり、人は弱いものね。だけど愛する力もきっとあるはず

ガラスの海の向こうには広がりゆく銀河。地球という名の船の誰もが旅人

ひとつしかない、私たちの星を守りたい

朝陽が水平線から光の矢を放ち、二人を包んでゆくの 瑠璃色の地球。瑠璃色の地球

この意味するものが何か？

今一番大事なことを考える「時」として2023年のクリスマスをお迎えください。

喜び、感謝、祈りの「時」となりますようお祈りいたします。

## スポーツデイ・クリスマス会

## 野の花保育園

野の花保育園では、ファミリースポーツデーとクリスマス会を行いました。ファミリースポーツデーでは、登園時からみんな笑顔で楽しみのようでした。お母さんお父さんに向かって行く「かけっこ」や抱っこされて頑張った「玉入れ」など親子で楽しそうでした。2月16日にはクリスマス会を行い、インマヌエル甲府キリスト教会の岡牧師ご夫妻をお招きして礼拝を守りました。ツリー飾りをしたり、手作り楽器でクリスマスソングに合わせて踊ったり、先生たちもハンドベル演奏をすることができました。お部屋には少しずつ作ってきたクリスマスの飾りが並び、最後には保護者の皆さんと一緒に讃美歌「きよしこの夜」を歌い、素敵なひと時でした。25日には手作り楽器を持って、本館へクリスマスメッセージを届けに行く予定です。今度は2歳児さんがハンドベルの担当になります。（浅野 聖子）



## チャイルドケア合同クリスマス会

今年もZOOMで本館、南西教室、りんごの木をつなぎ、チャイルドケア合同クリスマス会を12月26日に実施します。クリスマス礼拝ではインマヌエル甲府キリスト教会の岡信男牧師の話をお聞きます。その後「きよしこの夜」をみんなで歌い総主事の話をお聞きます。

今年は初の試みで前奏、後奏を取り入れたり、プログラムの内容も変えました。深澤久子さん、由美子さんをお招きし、クリスマスミニコンサートをお聞きます。そこでは、「もろびとこぞりて」「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」「サンタが街にやってくる」「あわてんぼうのサンタクロース」を演奏していただき、それに合わせて子どもたちが歌ったり楽器を合わせます。その後は、各事業所でそれぞれにクリスマス会を楽しむ予定です。学童保育・きらきら教室に通っている子どもたちが、オリーブの木や野の花保育園、ぽかぽか教室に招待状を作りました。当日はみんなで楽しみたいと思います。

（久保川 美江）



## 松本クラブ創立35周年記念例会「新しい一歩へ向かって」

2023年12月10日（日）、松本市梅風閣において松本クラブ創立35周年記念例会、第25回アジア賞授賞式が約65名の参加者を迎え行われました。1988年にYMCAの無い長野県で甲府クラブ・東京クラブのスポンサーを受けて発足した松本クラブは、様々な歴史の歩みを引き継いで、この日晴れやかな記念例会を迎えることが出来ました。松本クラブといえばアジア賞、というほどに定着をしてきた留学生小論文コンテストは、今回21名からの応募があり、最優秀賞のクミエッチ・マグダレナ・マリアさん（ポーランド）を始めとして8名が特別受賞となりました。アジア賞という名は残しつつ、昨年より世界に向けて広がった対象と共に、アジア賞は留学生と地域住民をつなぐ新たな歩みを始めています。



松本ワイズメンズクラブ直前会長 大和田 浩二

## 歌っても踊ってもOK！ ベビーカーコンサート



11月25日グローバルコミュニティーセンター、大澤英二記念ホールにて開催されました。

コンサートには30名の親子や、祖父母の方も一緒に音楽と触れ合いました。子育て中の親御さんや、赤ちゃんが身近に音楽に触れ、踊っても歌ってもOKな音楽を招待し、子育て中のお家族が子どもと一緒に生演奏を楽しみ、応援することを目的で始まったこの回も第4回を迎える事が出来ました。今回もクラシックから子どもたちの大好きなトトロまで大人も、子どもも楽しめる会となりました。クラシックではゆったりと過ごしていた子どもたちも、元気な曲や、知っている曲が流れると歌ったり、走ったり♪楽しく、ホカホカした気持ちりました。

バイオリンは赤根学弥さん、フルートとマリンバの姉妹ディオ、フリマリの紀香さん、明日香さん、ピアノは大島帆乃佳さんのハーモニーに、子ども達も大人も癒された1日でした。赤ちゃんから、何歳までもOKな音楽会♪是非次回は皆さんも一緒に、歌ったり踊ったりしませんか？お待ちしております！

（平賀 佳雅）

## クリスマスコンサート オリーブの木



いつもハンドベルの素敵な演奏を聞かせてくださる「リベカ」のメンバー、深澤久子様・由美子様親子が音楽会を開いてくださいました。

久子様の伴奏に合わせ、由美子様の素晴らしい歌声を聞かせていただきました。クリスマスソングを中心に、時には利用者様も楽器

を鳴らし楽しい合奏になりました。

アンコールの声もかかり、「武田節」を皆さんで歌いました。詩吟も利用者様がしっかりと覚えていらして、また素晴らしい声で披露してくださいました。若かりしあの頃を思い出し、心温まる楽しい時間でした。ありがとうございました。 （中澤 かおる）





## 銀河鉄道の森 プロジェクト



12月10日に銀河鉄道の森プロジェクト第4回デイワークが開催されました。今回も前回に引き続き、「この森に入りたい！！」「この森で遊んでみたい！！」と思える森づくりを目指して、枯れ木の伐採や、開放感を持たせるための作業を行いました。ユースリーダー会から6名のリーダーと、SNSでの告知を通してつながった3名の助っ人で作業を進めました。

そして昼食は、甲府21ワイズメンズクラブの方々が作ってくださった特製カレーをいただきました。その場で炊いた

ご飯とこだわりの無水カレーの味は絶品でした！！今回のデイワークを通して、改めてYMCAのもつ「つながり」のすごさと尊さを感じることができました。これからもこの『銀河鉄道の森』が、たくさんの「つながり」を生む場所となるよう、活用していきたいと思えます。

(菊池 央人)



## 秋のアウトドアだより みかん狩りに挑戦！

秋の恒例

プログラム、みかん狩り。行先は静岡県の清水。中部横断道で甲府から1時間40分の所にある鈴木農園に今年は三つのグループが訪れました。フルーツ王国やまなしにはないみかん。「小さい方が甘い」とか、「陽のあたる高いところの方がうまい」とか、賑やかに声を掛け合いながら、お目当てのみかんを見つけると、へたの部分をくると回しながらもいで、その場でパクリ。中には20個も食べた子もいました。

午後は、ハヤブサくらぶは三保の松原まで足を延ばし、これもまた山梨では見られないひろ～い海を眺めながら砂浜でお弁当を食べました。午後は打ち寄せる波と追い



かけっこをしたり、松林の中をハイキングしたりしました。

キツッキくらぶときらきら教室の仲間は、近くの秋葉山公園でお弁当を食べた後、高台に登って、時折ものすごいスピードで走り抜ける新幹線を見て大興奮。遠くには海が広がり、その向こうには伊豆半島も眺めることが出来ました。後半は長いローラー滑り台などで遊んだり、急な斜面で穴掘りゲームに夢中になり、ダンゴムシやムカデを見つけて大はしゃぎする子もいました。

今まで見たことのない物を見たり、やったことのないことに挑戦する。そして、本物の自然に出会う。これぞ野外活動のだいご味ですね。冬はスキーにスケート、そしていちご狩りに挑戦します。(露木 淳司)



## 御寄付者 2023年11月

上矢 智幸	山梨英和学院
大柴 百合子	山梨分区信徒会
岡 信男	(敬称略)
五味 雅子	
高橋 俊彦	
高橋 喜代美	
前田 榮一	

皆様に感謝いたします。

## 表紙の写真から

待ちに待った野の花保育園のクリスマス会  
日頃の保育の中からひとつまみ。オーナメントの飾りつけ、ママパパのお歌に合わせて、自分だけの楽器マラカスを作って鳴らしたよ。

♪リンリンリン♪

最期に牧師先生ご夫妻  
とみんな撮った集合  
写真♪

